

和歌山県白浜町臨海地区で 再び鳴いたミンミンゼミ

Hyalessa maculaticollis is singing again at Rinkai, Shirahama, Wakayama Prefecture, Japan

久保田 信

ミンミンゼミ *Hyalessa maculaticolli* は、和歌山県白浜町では山間部に限定して夏に鳴くが、白浜町臨海地区の海岸部でこれまでただ一度だけ、恐らく 1 個体が 2 日にわたり鳴いたことがある（久保田, 2011）。今回、再び同じ地区で、2013 年 9 月 5 日の 9 時半頃にミンミンゼミが 1 個体 1 回だけ鳴いた。これは前回より 2 年後ではあるが、全く同じ時期であった。この時期にはクマゼミもまだ鳴いているものの、盛りをすぎていて、ごく少数の声しか聞こえず、ツクツクボウシの鳴き声が聞こえて始めており、夏から秋への季節の端境期にあたるといえる。今回の再度の記録により、標高の高い所に生息する森林性のミンミンゼミが、標高の低い平地へ出現する動きが白浜町で、今後もだんだん起こりうるかもしれない。

引用文献

久保田 信. 2011. 和歌山県白浜町臨海地区で初めて鳴いたミンミンゼミ. KINOKUNI, (80): 31.
(くぼた しん 〒649-2211 西牟婁郡白浜町臨海 459 京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所)

和歌山県白浜町で 2012 年と 2013 年の午後 3 時半 以降に鳴いたクマゼミ（カメムシ目，セミ科）

Droning of *Cryptotympana facialis* (Hemiptera, Cicadidae) after at 3:30 p.m. in 2012 and 2013 in Shirahama town, Wakayama Prefecture, Japan

久保田 信

我が国で最大種のクマゼミ *Cryptotympana facialis*（カメムシ目，セミ科）は夏季に出現し、早朝から鳴き始め、午前中が主に鳴く時間帯である。しかし、例外的な鳴き方もあり、和歌山県西牟婁郡白浜町で 2011 年には台風通過日の日の入り直前に鳴いた（久保田, 2011）。その後、西牟婁郡白浜町に所在する京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所構内で、2012 年 8 月の台風時でない日の日の入り前に 1 個体の連続鳴きがあった。続く 2013 年には 7 月後半に、連日のように何度も夕方に鳴く声を聴いた（記録は取っていない）。

そこで、2013 年 8 月 1 日から 19 日まで、ほぼ毎日、15:30 以降にクマゼミが鳴いた記録をとった。これら 2 年間の記録をまとめて報告する。